

企業名：東ソー

レポート名：東ソーレポート 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

理解できる。企業理念として「私たちの東ソーは、化学の革新を通して、幸せを実現し、社会に貢献する。」と述べられていて、企業理念体系として、「目指す姿・目標」「信念・価値観」「行動指針（規範）」が詳しく述べられている。体系的にまとめられていてとてもわかりやすい。ただ、企業理念体系の「目指す姿・目標」「信念・価値観」「行動指針（規範）」を達成するための方針がどのように立てられたのかの説明があるともっと合理的に目指している姿が説明できたのではないだろうか。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

理解できる。事業領域としてバイオサイエンス事業、高機能材料事業、有機化成品事業など、行われている多くの事業が12ページにまとまって示されている。加えてそのページに社会に提供する価値としてわかりやすく示されている。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。経営方針として「化学の力」で人々の幸せに貢献し自らも持続的に成長していく」と掲げられている。培った技術・ノウハウを駆使して多種多様な化学製品を社会に提供することで持続可能な世界の実現に貢献することや、カーボンニュートラル(脱炭素)に向けた取り組みを行いながら持続的な成長を実現すると述べられている。成長戦略としては「コモディティ事業によって基盤となるキャッシュ・フローと利益を確保しつつ、スペシャリティ事業への継続的な開発投資を行い、新たな成長ドライバーを生み出していく」ことに加え「脱炭素」を両立させるとある。具体的な内容として、「ハイブリッド経営を基本としつつ、スペシャリティの収益拡大に注力」「CO2 排出削減・有効利用に向け総力結集」「健全財務に依拠した攻めの投資」「安全基盤の強化、安全文化の定着・深化」の4つの基本方針が掲げられていて、展望がわかりやすく競争優位性に持続性があると理解できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

あまり思わない。18ページに「環境変化に柔軟に対応できる「自律型人材」の育成に注力」、「人権尊重の取り組みを推進するとともに、モチベーションを高く保ちながら成長していく職場環境」とあるが、イメージがわきづらい上に、具体的な取り組み内容が述べられていなかった。ただ、「自主性・主体性を重んじる考え方は、多様化・複雑化し、絶えず変化

し続ける今の時代において 特に重要であり」という部分には賛同できた。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

全体的に構成・レイアウトともに申し分ない報告書であると感じた。特に、行っている事業ごとに SWOT 分析や、前中計の振り返りとそれを踏まえた戦略が詳しく書かれているところが、企業の事業・展望を把握するのに大いに役に立った。また、地球環境への配慮がどのようになされているかの説明も多く、持続可能な製造を行っている会社だとわかった。一方本レポート 4 でも触れたが、人材育成の説明は改善の余地があると感じた。「自律型人材」を目指して育成しているのは十分理解できたが、具体的な取り組み内容を明らかになっていなかった。これを改善し新入社員向けの情報を充実させると、より良い多くの人材が集まるといえるのではないだろうか。